



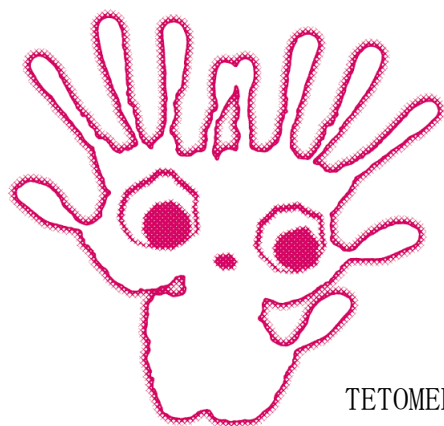
United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



City of Crafts
and Folk Art
KANAZAWA

Member of the
UNESCO Creative Cities
Network since 2009

金沢 創造都市 推進プログラム (改訂版)



TETOMEDES

Kanazawa "Craftism"
for the World
2013.3 Edition

目 次

序	1
I 創造都市・金沢を目指す将来像	2
II 課題と実践方策	
1. 文化とビジネスをつなぐために	3
2. 創造の担い手を育てるために	5
3. 世界を引きつけるために	7
III 実践方策スケジュール一覧	9
IV モニタリング	11

序

創造都市とは

地域固有の文化が、誇りや愛着のある付加価値の高い産業を促し、そのことがさらに新しい文化への刺激や投資にもつながって、市民の生活を豊かに暮らしの質を高めている、いわば「創造的な文化活動と革新的な産業活動の連環によって、まちを元気にしている都市」が創造都市である。

こうした創造都市の世界的なネットワークをユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が 2004 年に創設しており、金沢は、2009 年 6 月にクラフト分野で登録認定された“手仕事のまち”である。

このプログラムは

経済団体、工芸団体、市民団体及び行政からなる金沢創造都市推進委員会が制定した“Craftism”憲章を踏まえ、まちの将来像や 2014 年度までの取組等について、取りまとめたものである。

また、取組状況を踏まえて、ユネスコへの活動報告を提出する時期に応じて、2 年に一度改訂することとしている。

参考

“Craftism”憲章

伝統工芸や和菓子、加賀料理をはじめとする金沢の手仕事は、職人の一途なこだわりと独創性、研ぎ澄まされた感性の総体たる「ものづくりの精神」、すなわち“Craftism”を土壌としており、これが、創造的で付加価値の高い製造業やデジタルコンテンツといった新しい産業にも連なっている。

グローバル化とマスプロダクションの影響によって、都市が個性や魅力を喪失していく中、下記により金沢の“Craftism”を鮮明にし、21 世紀において持続的に発展する創造都市の実現を期すため、“Craftism”憲章をここに制定する。

1. 文化と産業の連環を生み出す“Craftism”を、さらに磨き、高めていく。
1. 人を育み、生活を豊かにする“Craftism”を、次世代に継承していく。
1. 「手仕事のまち・金沢」の源泉たる“Craftism”を、国内外へ発信していく。

2009 年 10 月 16 日 金沢創造都市推進委員会

I 創造都市・ 金沢が目指す将来像

金沢はクラフト分野で認定された創造都市として、文化のビジネス化、人材の育成、世界への発信というそれぞれの観点から3つの将来像を掲げる。

1. 文化とビジネスをつなぐまち

本市の伝統工芸やその技術を生かした高付加価値の商品開発や、職人氣質に根ざしたものづくり産業を振興し、海外にまで新たな販路を開拓するような、創意工夫に富んだ企業が数多く存在する都市を目指す。

2. 創造の担い手を育てるまち

ものづくりの後継者、文化芸術活動を担う若い世代等が、育ち、集い、競い、創造性を発揮する機会に恵まれるとともに、市民一人ひとりが、本市の伝統工芸や芸能に誇りと愛着を持ち、職人や作家たちを支え、日々の生活や文化的催し等への参加を通じて、質の高い生活を送れる都市を目指す。

3. 世界を引きつけるまち

ユネスコ創造都市ネットワークを通じた工芸の職人や作家、経済人等の連携を促すとともに、交流拠点都市金沢として、21世紀の都市や自治体のあり方、地球規模の諸課題、世界平和の実現等についての国際的な会議が不断に開かれるような国内外から多くの人々が集う都市を目指す。

Ⅱ 課題と実践方策

それぞれの将来像の実現に向けた課題を踏まえて、官民の連携、これまでの取組とユネスコ創造都市ネットワークの活用という視点から、19項目を重点的に進める取組として位置付ける。

1. 文化とビジネスをつなぐために

課題

金沢ブランドの発信力強化

これまでも官民連携の商品見本市等は開催されているが、さらに金沢ブランドの発信力を高めるためには、バイヤー（仕入れ責任者等）だけではなく、直接、一般消費者の関心を引きつける必要がある。

ビジネスのアート化

また、現代の生活様式への対応や新たな購買層を開拓するためには、従来からある日常品にデザインの要素を取り入れるなど、より付加価値の高い商品をつくる、いわば、ビジネスのアート化が求められている。

プロデュース能力の強化

さらに、金沢ブランドの発信には、当然のことだが、ブランドとなり得る商品が必要であり、ビジネスのアート化によって生まれた商品の良さも消費者にまで伝わらなければ意味がない。文化とビジネスをつなぐためには、商品の企画から販売までをプロデュースする能力が不可欠である。

実践 方策

① 1-1 金沢クラフト「首都圏魅力発信」事業

金沢クラフトの魅力をより効率的に発信するため、情報の集積及び発信地である東京に魅力発信拠点の開設を検討する。また、個人作家や職人を集め、首都圏において「生活工芸／金沢」を開催することで効率的なPRを図る。

【実施主体】金沢市、金沢クラフトビジネス創造機構

1-2 金沢クラフトビジネス創造機構運営事業

クラフトの販路拡大や情報発信などの機能を強化するため、金沢クラフトビジネス創造機構を運営する。同機構においては、「生活工芸／金沢」のブランディング化や販路開拓セミナーの開催、情報の集積・発信、起業の支援など多様な事業を展開する。

【実施主体】金沢クラフトビジネス創造機構、金沢市



1-3 おしゃれメッセ開催事業

金沢の繊維製品や伝統工芸品を内外に発信し、クラフトのビジネス化を推進するため、創造都市金沢を代表する見本市として、おしゃれメッセを継続開催する。

また、日常生活で使用する工芸品のビジネス化に向け、実験店舗「モノトヒト」を開設し、作り手の人材育成や販路拡大を図る。

【実施主体／関連機関】おしゃれメッセ実行委員会、金沢市／
金沢卯辰山工芸工房、金沢美術工芸大学

1-4 加賀友禅及び金沢箔の技術振興研究事業

現代の生活様式に伝統工芸を活用するために、加賀友禅及び金沢箔についての専門研究機関を設立し、技術支援、新製品開発、販路拡大などに向けた課題を研究する。

特に、加賀友禅については、首都圏大手百貨店と連携した新商品開発等に、金沢箔については、箔の性質、箔打紙の学術的研究、仕様書の作成等に取り組む。

【実施主体】加賀友禅技術振興研究所（2009年7月設立）、金沢箔技術振興研究所（2010年7月設立）

改 1-5 インキュベーション支援事業

若手工芸家の創作活動や事業化を支援するため、まちなかの陶芸施設やビジネスルーム、金澤町家を活用したインキュベーション施設として設置した職人工房を貸し出すほか、起業支援の経験がある専門員を配置した相談窓口を新たに開設する。

【実施主体／関連機関】金沢市、金沢クラフトビジネス創造機構

改 1-6 クリエイティブベンチャーシティ金沢推進事業

金沢の新しい手仕事としてコンテンツ産業を育成するため、eAT KANAZAWA（イート金沢）においては、一流の講師陣による定期的なカリキュラムや交流事業、スペシャルイベントなどを開催し、人材育成への重点化を図る。また、金沢発の新産業を創出するベンチャーの発掘から育成まで総合的に支援を行う、クリエイティブベンチャーシティ金沢推進事業

（通称：CVCK）を推進する。

【実施主体】イート金沢実行委員会、金沢市



文化とビジネスをつなぐ土台となる取組

・金沢美術工芸大学による産学連携芸術教育研究事業

美術工芸とビジネスの融合を図るために、企業等の製品企画段階での共同研究を授業の一環として実施するほか、人材養成の観点からも、企業等からの受託研究を、大学院生がプロジェクト・リーダーとなり、学部生とともに実施する方策を検討する。

【実施主体】金沢美術工芸大学

・金沢市伝統工芸品産業アクションプランの推進

伝統工芸品産業アクションプランの基本理念である「手仕事を継承・発展し、世界に発信するまち 金沢」に基づき、人材育成、製品開発、情報発信・販路拡大、普及推進に係る具体策を推進する。

【実施主体／関連機関】金沢市／産地組合、高等教育機関・試験研究機関

2. 創造の担い手を育てるために

課題

技術の継承

金沢の 22 種類の伝統工芸品の中には、後継者の減によって、このままでは技術の継承が危ぶまれるものもある。具体的な取組の実践は待ったなしの課題であり、同時に中長期的な観点から後継者を育てるためには、次世代を担う子どもたちを対象とした取組も欠かせない。

人材の国際化

さらに、技術を単に継承するだけではなく、新たな商品を開発し、販路を拡大していくため、これからの職人や作家には、国内外との交流によって、新たな刺激を受け、活躍の場を海外にまで広げていくことが求められる。

日常生活における工芸の価値の再確認

一方、消費者である市民も、暮らしの中にマスプロダクションによって画一化された日常品ではなくて、質の高い工芸品を取り入れることで、職人や作家を支える一人になるとともに、自らのより豊かな生活を実現することが期待される。

実践 方策

2-1 希少伝統工芸産業振興事業

希少伝統工芸のうち、特に後継者が不足している金沢和傘及び二俣和紙の技術を継承するため、金沢和傘については、表具・木工・竹工芸などの職人からなる金沢和傘伝承研究会（2009 年設置）において、国内最大産地から講師を招聘し、その技術指導の下で和傘づくりの研究を行う。

また、希少伝統工芸産業専門塾に設置した二俣和紙部門を継続するとともに、和紙原材料である楮の試験栽培等を実施する。

【実施主体／関連機関】金沢市／和紙職人、金沢クラフトビジネス創造機構、
金沢・クラフト広坂、金沢森林組合



2-2 若手工芸家海外研修支援事業（クリエイティブ・ワルツ）

若手工芸家が異文化との交流から新しい刺激を受けるとともに、国際的な人脈や視野を得られるよう、金沢美術工芸大学からの留学生等が海外のユネスコ創造都市を訪問するプログラムをクリエイティブ・ワルツとして実施する。

また、他の創造都市から金沢への双方向のワルツも視野に入れて、事業展開を図る。

【実施主体／関連機関】金沢市、金沢創造都市推進委員会／金沢美術工芸大学、
金沢卯辰山工芸工房、金沢市工芸協会

ワルツ：ドイツにおけるマイスター制度の一環として、中世から続く、手工業職人の修行の一つ。

3 年間で 1 日故郷を離れ、他都市の仕事現場に飛び込み親方（マイスター）の職人技を習得する。



新 2-3 産学連携ものづくり技術交流塾開催事業

先端ものづくり技術交流塾や金沢美大デザイン開発体験塾の開催などを通じて、ものづくり企業の技術力と大学等のシーズを結びつける機会を創出する。

【実施主体】金沢市、金沢市産学連携事業運営委員会



2-4 金沢工芸子ども塾及び匠会運営事業

将来の工芸作家の発掘と育成に向けて、子どもの頃からものづくりに接して、工芸の素質を磨くために、2年間で1期として、デザイン・金工・染織・陶磁の各分野において実習を行う金沢工芸子ども塾を開催するとともに、子ども塾修了生を対象に匠会を設置し、金工・染織・陶磁の各分野で、より高度な知識・技術の習得を目指す。

【実施主体／関連機関】金沢市／金沢美術工芸大学

2-5 平成の百工比照収集作成事業

伝統工芸の文化・技術の継承や工芸品産業の振興のために、製品見本や技法のアーカイブとなる「平成の百工比照」を収集作成する。国指定の6業種及び希少伝統工芸について、順次業種を選定して作業を行うとともに、保存・展示方法についても検討を加え、常設展示を目指す。

【実施主体】金沢市、金沢美術工芸大学



百工比照：5代藩主前田綱紀が収集した工芸各分野にわたる製品や技法についての集大成で、総点数は2千点以上の資料は材質・用途・形態別に二つの箱に収められており、国の重要文化財となっている。

新 2-6 オープンシティ in 金沢事業

県内外からの新入生等を対象として、金沢のまちを巡り伝統工芸等を体験し、金沢の歴史・文化に触れるスタディーツアーを学生が主体となって開催する。

【実施主体】金沢市、金沢まちづくり学生会議



創造の担い手を育てる土台となる取組

・金沢卯辰山工芸工房技術研修者奨励金・金沢市伝統産業技術研修者奨励金

金沢卯辰山工芸工房や産地組合における高度な工芸技能の習得を目指す技術研修者の創作活動を支援するために、3年間で期限として、技と芸の人づくり基金による奨励金を支給する。

【実施主体】金沢卯辰山工芸工房、金沢市

・金沢美術工芸大学による国際交流研究事業

世界で活躍する芸術家・デザイナー・研究者の育成を目指して、金沢美術工芸大学が交流協定を締結している海外の美術大学と学生及び教員の相互派遣を行うほか、国際的な芸術家・研究者を金沢に招き、学生や市民を対象とした講演会等を開催する。

【実施主体／関連機関】金沢美術工芸大学

・金沢ユネスコスクール推進事業

持続可能な社会の担い手を育成するために、市内小中学校のユネスコスクールへの加盟を促進し、金沢の伝統文化、環境、国際理解などに関する学習の充実や国内外の加盟校との交流推進を図る。

【実施主体】金沢市教育委員会

3. 世界を引きつけるために

課題

世界への発信・貢献

伝統工芸を初めとする金沢の魅力をいくら向上させても、広く国内外に伝わらなければ、多くの人を引きつける都市とはならない。同時に、ユネスコ創造都市ネットワークへの登録認定に伴う責任として、金沢には自らの歴史・伝統、学術・文化を磨き高めるだけでなく、他の加盟都市との互恵的な関係の構築や世界への貢献が求められる。

実践的な交流・連携

また、従来の国際交流はともすれば儀礼的になりがちであったが、これからの創造都市ネットワーク等を通じた、都市、職人、作家や経済人等の交流・連携は、文化多様性を守るとともに、創造的な文化活動と革新的な産業活動との連環によってまちを活性化させるために、より実践的な取組となることが期待される。

実践 方策

新 3-1 交流拠点機能強化事業

「ユネスコ創造都市ネットワーク」や「創造都市ネットワーク日本」との連携を活かし、国内外との交流を深めるとともに、クラフト分野のみならず、デザインやICTなど多様な分野の交流拠点機能を強化する。

【実施主体】金沢市、経済団体、高等教育機関

新 3-2 ユネスコ創造都市ネットワーク会議開催事業

2015年の北陸新幹線金沢開業に合わせ、ユネスコ創造都市ネットワークの世界会議開催を誘致し、歴史を礎として、学術や文化などの個性を守り、磨き高めてきた金沢を世界に発信する。

【実施主体】金沢創造都市推進委員会、金沢市

3-3 創造都市交流事業

クラフト創造都市・金沢を世界へ発信し、本市の文化・産業をより一層活性化させるため、フォーラムやワークショップの開催など、ユネスコ創造都市との幅広い交流事業を展開する。

また、アジア諸国における創造都市を目指す活動への支援や、工芸振興へ貢献していくことで、アジアにおける創造都市ネットワークのハブ的役割を担っていく。

【実施主体】金沢創造都市推進委員会、金沢市



3-4 金沢版クラフト・ツーリズム事業

金沢の伝統文化体験（工芸、芸能、食など）を通じ、国内外に「手仕事のまち・金沢」を発信するため、金沢版クラフト・ツーリズムを実施するとともに、観光事業化に向けた検討を進める。

また、クラフト・ツーリズムを催行する学会等への助成制度を広く周知し、MICE誘致の促進を図る。

【実施主体】金沢市、金沢市観光協会



3-5 金沢・世界工芸トリエンナーレ開催事業

金沢の伝統工芸を国内外に発信するとともに、さらに発展させて未来へと継承していくために、1997年度から隔年で開催してきた世界工芸都市会議や世界工芸コンペティションを改め、2010年度から金沢・世界工芸トリエンナーレとして開催する。

【実施主体／関連機関】金沢・世界工芸トリエンナーレ開催委員会、金沢市／
金沢市工芸協会、金沢 21 世紀美術館

3-6 創造都市に関する外部研究機関等との共同研究事業

クラフト創造都市・金沢の持続可能な発展や 21 世紀における創造都市の意義・役割等について、学術的な視点も踏まえて、国内外へと発信していくために、国連大学高等研究所をはじめとする外部研究機関等との共同研究を行い、国際会議、学会、フォーラム等での発表などにつなげていく。

【実施主体／関連機関】金沢市、金沢創造都市推進委員会／
国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット、
NPO法人都市文化創造機構、創造都市ネットワーク日本

3-7 アジア・クラフト交流事業

伝統的な素材や技法によるものづくりが息づくアジアの豊かな精神性や美意識を再認識し、新たなものづくりのネットワークを構築するとともに、発展途上国の工芸をはじめとした文化産業に貢献するために、アジアの関係機関と連携し、金沢美術工芸大学の教員との相互派遣を行うほか、アジア諸国で活躍する工芸作家等の研修受入制度を拡充する。

また、文化庁が推進する「東アジア文化都市」事業に協力し、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進する。

【実施主体】金沢美術工芸大学、金沢市

Ⅲ 実践方策スケジュール一覧

			H22年度	H23年度
1 文化とビジネスをつなぐために	新 1-1 金沢クラフト「首都圏魅力発信」事業			
	1-2 金沢クラフトビジネス創造機構運営事業			・生活工芸ワークショップ(H25年度～)、販路開拓
	1-3 おしゃれメッセ開催事業		・特別企画「生活工芸プロジェクト」の実施(済) ・東京での展示商談会の開催(済)	・東京での展示商談会の開催等 ・生活工芸ショッ
	1-4 加賀友禅及び金沢箔の技術振興研究事業	加賀友禅技術振興研究所 金沢箔技術振興研究所	・首都圏大手百貨店と連携した新商品開発 ・経営支援に関する各種セミナー等の開催 ・着物ファン 7月設立(済)	・箔仕様書の作成・公開 ・箔の使用・流通状況等
	改 1-5 インキュベーション支援事業		・金澤町家職人工房の運営	・クラフトプラザ香林坊の開設
	改 1-6 クリエイティブベンチャーシティ金沢推進事業	eAT KANAZAWA eATコンテンツ産業促進事業	・トップクリエイターとの交流 ・イートクリエイター育成講座等の開催 コンテンツ産業集積促進構想の検討(済)	・クリエイターポータルサイトの制作 ・起業家支援の推進
2 創造の担い手を育てるために	2-1 希少伝統工芸産業振興事業	金沢和傘伝承研究事業 二俣和紙再生事業	和傘づくりの研究(済) 再生施策のとりまとめ(済)	金沢和傘の制作実習 後継者の育成、用途・販路の拡大、和紙原材料の
	2-2 若手工芸家海外研修支援事業(クリエイティブ・ワルツ)		試行的実施(済)	対象者を拡大して実施
	新 2-3 産学連携ものづくり技術交流塾開催事業			
	2-4 金沢工芸子ども塾及び匠会運営事業		・第2期 金沢工芸子ども塾の運営 ・塾修了者を対象とした匠会の設置(済)・運営	
	2-5 平成の百工比照収集作成事業	資料収集・アーカイブの作成 保存・展示方法	順次業種を選定し、実施(H22・23年度:染織 H23・24年度:金工 H26・27年度:陶芸) 保存・展示方法の検討	
	新 2-6 オープンシティ in 金沢事業			
	完 金沢の文化発見講座事業		学生を対象にした講座の実施	
3 世界を引きつけるために	新 3-1 交流拠点機能強化事業			
	新 3-2 ユネスコ創造都市ネットワーク会議開催事業			
	3-3 創造都市交流事業		メッセをテーマにした世界創造都市フォーラムの開催(済)	クラフト&フォークアート分野の創造都市によるワークショップの開催
	3-4 金沢版クラフト・ツーリズム事業		第2回日仏自治体交流会議等に合わせて実施(済)	観光事業化に向けての検討・調査・試行
	3-5 金沢・世界工芸トリエンナーレ開催事業		第1回金沢・世界工芸トリエンナーレ開催(済)	第2回トリエンナーレの開催準備
	3-6 創造都市に関する外部研究機関等との共同研究事業		NPO法人都市文化創造機構との共同研究の実施(済)	研究テーマ・時期や共同研究機関について検討
	3-7 アジア・クラフト交流事業	アジア工芸教育交換プログラム事業 アジア工芸作家等研修支援事業	台湾・韓国・カンボジアから作家等を招聘(済)	交流する国や機関の拡大を検討 アジア諸国で活躍する工芸作家等の研修受入

H24年度	H25年度	H26年度
	・「首都圏魅力発信拠点」検討調査 ・「生活工芸／金沢」開催	
セミナーの開催 ・クラフトビジネス化支援 ・情報集積発信 ・テストマーケティング ・クラフトビジネススクラブ運営		
ブ「モトヒト」の開設(H24年度～)		
ネットワークづくりの推進		
の情報収集及び活用 ・技術研修会の開催 ・箔の物性、箔打紙に関する研究		
・まちなか陶芸施設の開設	・金澤町家職人工房の増設 ・起業支援相談窓口の開設	
	・トップクリエイターとの交流 ・イートクリエイター育成講座等の開催 ・定期的カリキュラムの実施	
・起業家支援の推進 ・コンテンツ関連企業の誘致		
生産体制の整備に関する施策の実践		
派遣先を拡大して実施	ユネスコ創造都市と双方向での実施の検討	
	・先端ものづくり技術交流塾、金沢美大デザイン開発体験塾等の開催	
第3期 金沢工芸子ども塾及び匠会の運営		第4期 金沢工芸子ども塾及び匠会の運営
・報告展示会の開催 ・常設展示の検討		
	金沢まちづくり学生会議等の活動として実施	
社会人を対象にした講座等の検討		
	交流拠点都市金沢の重点戦略計画を策定	計画の具現化
	・会議誘致に向けたロビー活動等の実施 ・開催時イベントの検討	
創造性を活かしたまちづくりをテーマにした世界創造都市フォーラムの開催	連携をテーマにした世界創造都市フォーラムの開催	これまで交流を行ってきた創造都市との共同事業の実施
		観光事業化
	第2回トリエンナーレの開催	第3回トリエンナーレの開催準備
	創造都市ネットワーク日本等との連携、共同研究について検討	

IV モニタリング

創造都市・金沢の概況を適切に把握するため、ビジネス化の進展状況、希少伝統工芸の後継者・将来の担い手の育成状況、国際化の進展状況に着目して継続的にモニタリングを行う。

モニタリングを踏まえて、新たなる方策の必要性や方策の変更などを検討して、プログラムの改訂に反映させていく。

項目	数値根拠・計測手法	現状数値（平成24年度実績）
伝統工芸品産業 従業者数	金沢市の伝統工芸品産業 22業種の従業者数（市集計）	2,230人（指定業種） 176人（未指定） 【H23年実績】
国指定6業種 生産高	国指定6業種の年間生産額 （各産地組合集計）	116億円 【H23年実績】
金沢・クラフト広坂の 実績	金沢・クラフト広坂の売上高 （クラフト・広坂集計）	5,198万円 【H23年実績】
おしゃれメッセの 実績	「おしゃれメッセかなざわごのみ」 における商談点数・商談成立及び売 上金額（同実行委員会集計）	1,984点（商談点数） 8,983千円 （商談成立及び売上金額）
希少伝統産業 専門塾受講者数	希少伝統産業専門塾 全コースの受講者数（市集計）	41人
金沢工芸子ども塾・ 匠会受講者数	金沢工芸子ども塾・匠会を 受講している児童生徒数（市集計）	28人
作家・職人等の 国際的交流数	金沢美術工芸大学・金沢卯辰山工芸 工房・金沢21世紀美術館における 学生・作家・職人等の海外との交流 数（美大・卯辰山工芸工房・21美術館計）	15人

金沢創造都市推進プログラム

(平成22年度～平成26年度)

平成22年 3月 策定

平成23年 3月 改定

平成25年 3月 改訂

金沢市



Kanazawa "Craftism"
for the World

金沢市